

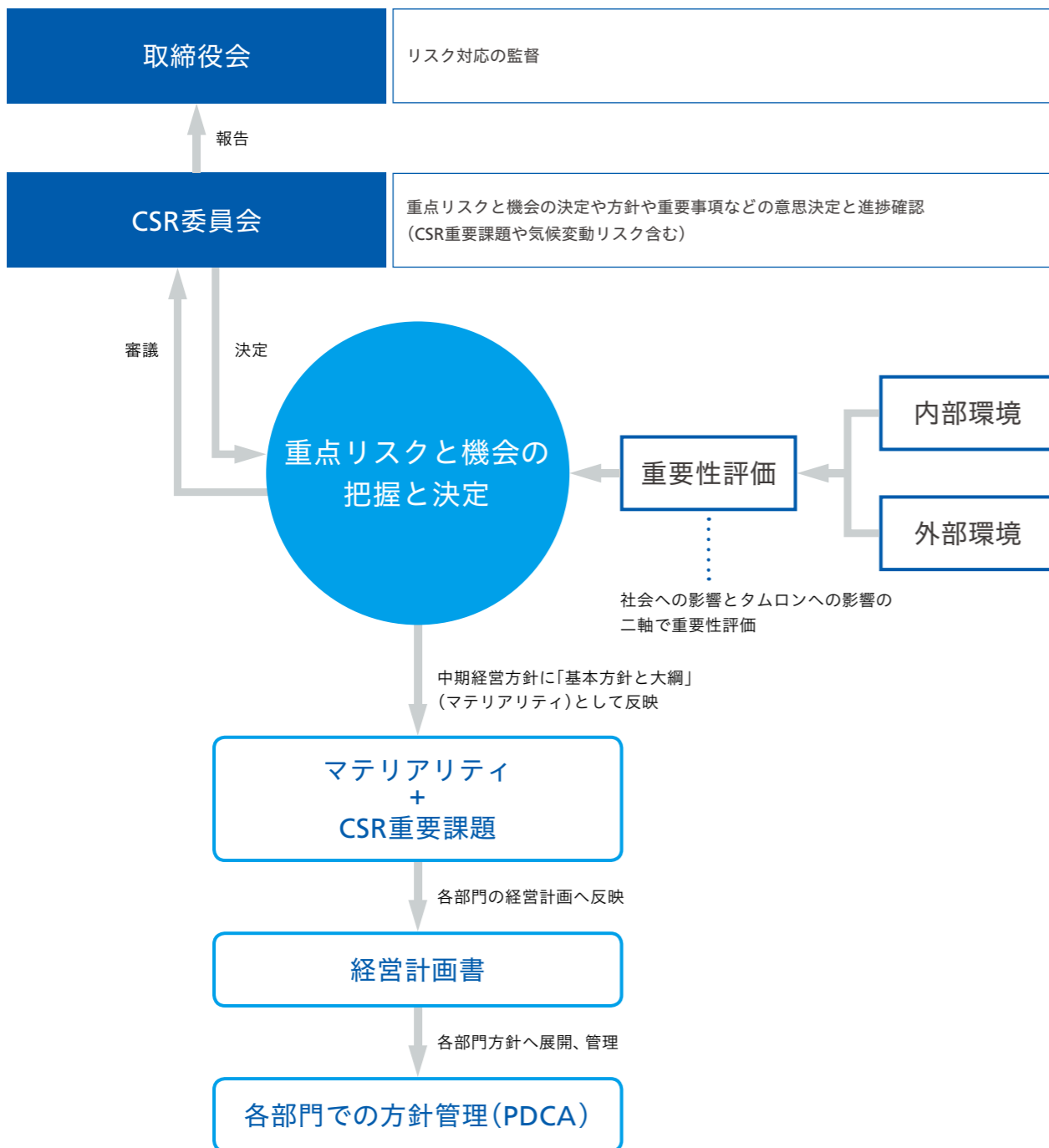
# リスクと機会

## リスクマネジメント体制

タムロンを取り巻く政治・経済情勢の変化や事業環境は、日々変化しており、当社の持続的成長のために備えるべきリスクと成長機会の両面からリスクマネジメントを実施し、リスクをコントロールしています。

当社は、様々なリスクを重要な経営課題として認識しています。リスク対応に関する基本方針や重要事項は、社長を委員長とし、全ての役員と部門長が委員であるCSR委員会で審議・決定するとともに、適宜、取締役会

に報告しています。重要な経営課題として認識したリスクと機会は、中期経営方針である「基本方針と大綱」と各部門の経営計画に展開され、各部門で方針管理を行うマネジメント体制を構築しています。またCSR面での重要な課題はCSR重要課題として認識し、管理目標を定め、CSR委員会で四半期に1回、定期的にモニタリングしています。



## 重点リスクと機会

●重点リスク ●重点機会

リスク要因	重点リスク/重点機会	対応方法
・デジタルカメラ市場の縮小 ・写真関連事業への依存 ・特定顧客への依存	● スマートフォンカメラ高機能化によるデジタルカメラ市場縮小の拡大 ● 写真関連事業への依存 ● 特定顧客への依存 ● ミラーレスカメラ市場の成長 ● 産業向けカメラ市場の成長	・ミラーレス用交換レンズに特化した販売戦略 ・成長する産業向けレンズの売上拡大 ・新規事業への積極投資
・製品需給	● 製品の価格変動、過剰/過小在庫	・各地域の需要変動への適切な対応や生産管理
・気候変動	● 脱炭素社会への移行に対応できないことによる企業価値の棄損 ● 国内外の工場の罹災による生産活動への影響 ● 炭素税や再生可能エネルギー購入費用負担 ● 脱炭素社会への早期対応による受注機会の増加	・環境ビジョン2050策定におけるCO <sub>2</sub> 排出削減目標の設定と取り組み強化 ・国内外における事業継続計画(BCP)による対応と継続的改善 ・2°Cシナリオ、4°Cシナリオ分析によるリスクと機会の把握と対応
・交換レンズ事業特有のリスク	● カメラとのアンマッチングによる不具合発生	・製品出荷前の品質保証検査 ・出荷後のファームアップ書き換え対応
・急速な技術革新	● 先端技術の開発または製品への適用が予定通り進展しなかった場合の競争力低下 ● 画期的な技術開発による成長機会の獲得	・研究開発センターによる新規事業の創出 ・産学官とのオープンイノベーション
・新規事業への投資 ・M&Aなどへの投資	● 新規事業への研究開発投資や設備投資の失敗 ● 事業強化に向けた業務提携、企業買収の失敗 ● 強固な財務体質を活かしたM&A等への積極対応 ● 新たな経営資源獲得による成長基盤の構築	・医療向け製品の本格事業化に向けた戦略 ・経営会議や取締役会での市場動向、戦略、買収価格、潜在リスク等の様々な視点からの分析と議論の実施
・製品の品質と安全	● 製品の品質低下や欠陥によるブランド価値の棄損	・ISO9001、13485、IMTF16949に対応した品質保証体制の構築と強化 ・品質不良発生時の対策と流出防止
・人材確保	● 有能な人材の採用・確保の競争激化による新規採用や雇用継続への影響 ● タムロンの求める人物像に該当する優秀な人材の採用と雇用の維持による成長機会の獲得	・職種別採用、役割等級制度、社内公募制度 ・ワークライフバランスとダイバーシティの推進による働きやすい職場環境の構築 ・健康経営の推進
・情報セキュリティ	● コンピューターウイルスなどでの情報システムの破損による企業情報や個人情報の流出	・情報セキュリティ体制の構築 ・情報セキュリティポリシーに基づく管理
・地政学的なリスク	● グローバルな政治・社会・経済動向によって受ける様々な影響	・グローバルな政治・社会・経済情勢を定時的にモニタリングし、企業活動における影響を分析
・新型コロナウイルス感染症など	● 新型コロナウイルス感染症拡大によって受ける従業員の安全への影響や事業活動への様々な影響	・在宅勤務やテレワーク環境の整備 ・国内外における事業継続計画(BCP)による対応と継続的改善
・コンプライアンス	● 知的財産権侵害や贈賄をはじめとした法令違反や社会規範を逸脱した企業行動による企業価値の棄損	・コンプライアンス委員会による方針の決定と推進 ・コンプライアンス行動指針の周知と徹底

※ 重点リスクと機会の詳細は、当社ホームページ「事業等のリスク」をご参照ください。  
(URL: [https://www.tamron.co.jp/ir/management/management\\_04.html](https://www.tamron.co.jp/ir/management/management_04.html))

## リスクと機会

### マテリアリティ(中期経営方針 基本方針と大綱)

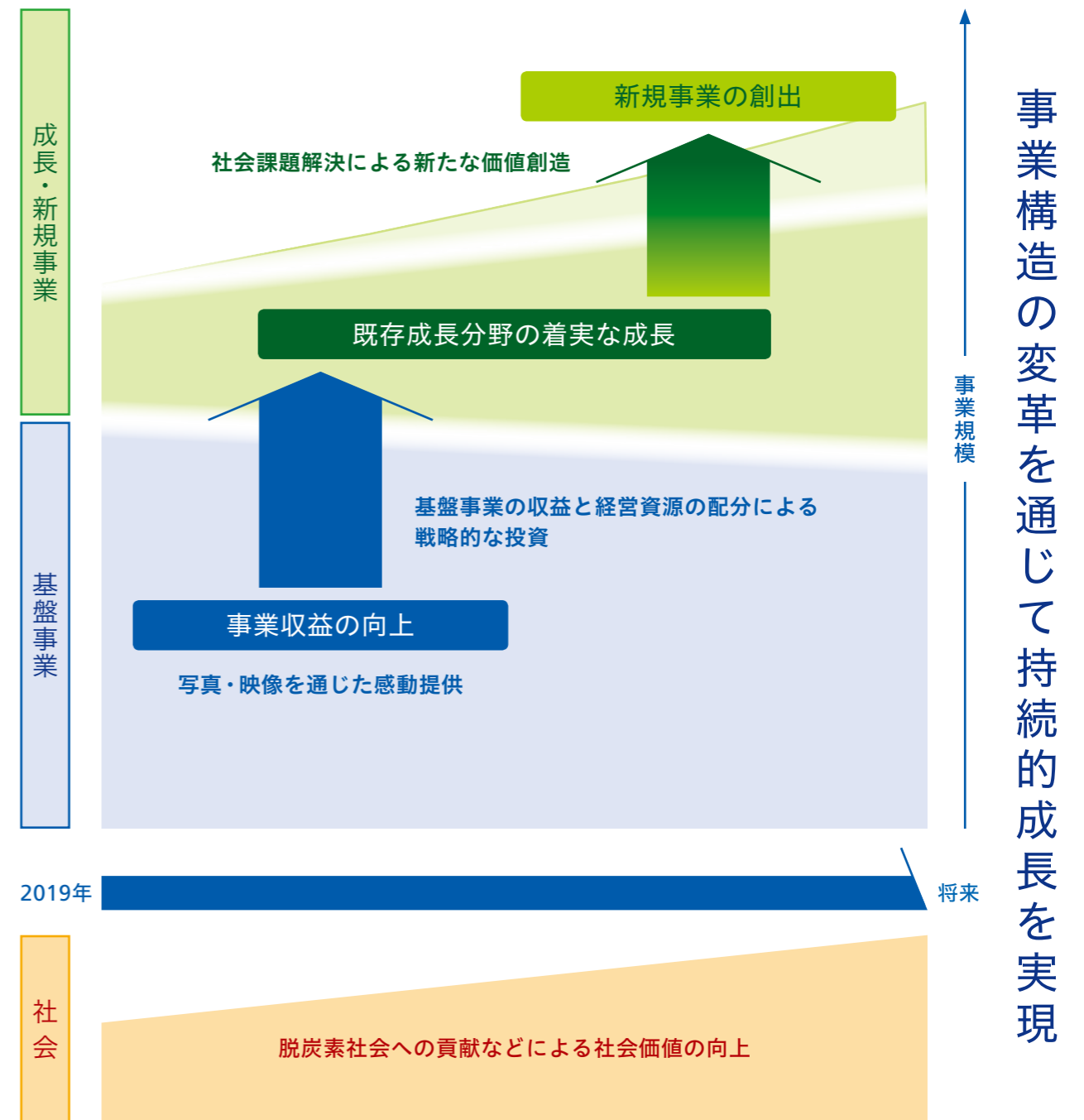
タムロンが社会とともに持続的に成長するためのマテリアリティは、事業戦略の策定や意思決定における重要な項目と位置づけられ、中期経営方針に展開されてい

ます。それらのマテリアリティに取り組む上で、リスクを低減し機会を活かすための環境・社会・ガバナンス上の個別課題として「CSR重要課題」があります。

マテリアリティ	CSR重要課題	中期経営方針(基本方針と大綱)
<b>1 感動と安心の創造</b>  	・事業による社会課題への貢献	・マーケティング力・商品企画力・営業力を強化し、市場動向・顧客ニーズに応える顧客が感動する商品を提供し、市場毎に応じた販売戦略で、シェア向上をはじめとした事業拡大を図る。
<b>2 新しい光の創造</b>  		・「社会の課題解決」に目を向けたマーケティングの強化、M&A含む共創により、既存事業の拡大と、新たな「産業の眼」の開拓による事業領域の拡大を目指す。 ・当社のコア技術である光学技術を中心とした要素技術開発に加え、新たな技術領域での研究開発、共創等水平分業(産学官連携含む)にも注力する。
<b>3 事業構造改革(生産性向上)</b> 	・CO <sub>2</sub> 削減 ・資源循環の実現 ・環境配慮設計 ・有害化学物質の削減 ・水の管理	・既存事業のグローバル展開を加速させ、アジア市場の強化を最優先に新興国市場の需要の取り込み、収益性の向上を図り、事業基盤を強化する。 ・激しい外部環境変化に対応するため、グローバルな開発体制を強化し、開発から量産までのリードタイムの短縮を図り、市場毎の顧客に応じた新製品をタイムリーに提供する。 ・効率的な生産の世界3極体制を構築し、第4次産業革命を念頭にスマートファクトリー化による自動化・省力化・省人化等による更なる生産効率向上・原価低減を推進する。
<b>4 持続可能な地球への貢献</b>  		・持続可能な地球環境の実現に貢献するため、気候変動対策として温室効果ガスを削減するとともに、資源循環を推進する。
<b>5 社員の活躍</b>  	・非財務情報の開示拡大 ・製品品質・安全管理の強化 ・CSR調達への推進 ・大規模災害への備え ・内部通報制度の充実 ・ガバナンス体制の改善	・ワークライフバランスの向上、ダイバーシティの推進、人材育成を図り、全社員が最大限の能力を発揮できる職場環境を整備する。
<b>6 信頼と持続的成長の基盤構築</b> 		・戦略・戦術の実効性を向上すべくコーポレート・ガバナンスを強化し、持続的成長を実現する。



### 持続的成長の方向性 - 社会とともに -



### マテリアリティに基づき、将来に向けて注力する取り組み

社会の安心に貢献する  
産業向けでの事業拡大

新たな光の可能性創出と  
早期の本格事業化

生産性向上・社員活躍・  
ガバナンス改革・  
地球環境への貢献